

令和4年度（2022年度）第7回三者懇談会（吹田市立岸部保育園）

- 1 開催日時 令和5年3月18日（土） 午後6時～午後7時
- 2 開催場所 岸部保育園 遊戯室
- 3 出席者 岸部保育園父母の会会長、その他保護者12名
社会福祉法人あおば福祉会（理事長、常任理事、合同保育職員3名（園長予定者、主任予定者2名）
吹田市児童部職員（児童部次長（子育て政策室長）、子育て政策室参事、保育幼稚園室参事、岸部保育園長、子育て政策室主幹、岸部保育園長代理、子育て政策室主査、岸部保育園保育教諭3名、岸部保育園看護師）
（Zoom で参加した保護者8名）
- 4 議 題
 - 1 合同保育について
 - 2 引継ぎ保育、職員体制について
 - 3 アンケート回答、引継ぎの状況について
 - 4 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第7回三者懇談会を開会いたします。
開会に当たりまして、児童部次長から御挨拶申し上げます。

児童部次長： 昨年4月から合同保育がスタートし、本年1月からは、保育士5名、看護師及び調理員（栄養士）の職員の方々が新たに加わり、現状の保育内容の引継ぎや、新年度に向けて移行準備を進めてまいりました。
引継ぎ保育については、後程園長から御説明をさせていただきます。吹田市として移管後も円滑に運営されるよう努めてまいります。保護者の皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

吹田市： 次に、資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 出席者の御紹介をさせていただきます。

あおば福祉会： （奥野理事長）あおば福祉会の理事長をしています奥野です。
引継ぎでは、皆様の御協力により本日を迎えることができました。
運動会、生活発表会等も参加しまして、子どもたち一人一人が、伸び伸び育っていると感じました。また、子どもたちの思いが、大人に伝わるような保育をされて

いるというのがよく分かりました。

あおば福祉会としてもしっかりと引継ぎを行い、子どもたちや保護者の方が、納得できる保育を実現したいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

あおば福祉会：（福祉常任理事）先日、50周年を祝う集いに参加しました。保護者の方が一生懸命、子どもたちに向き合っていると実感するとともに、公立の先生方も、一緒に温かい雰囲気を作られていることにすごく感動を覚えました。

皆さんがこれまで大切にしてきたことを丁寧に引き継ぎたいと思います。あとわずかとなりましたが、4月1日を目指して頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

あおば福祉会：（中村園長予定者）50周年を祝う集い、お一人お一人との面談やクラス懇談で、保護者の方のお声や、思いを聞かせていただきましたので、その思いなども含めて引継ぎをさせていただきたいと思います。

本日、皆さんに御協力していただいて、園庭の環境整備を一緒に行うことができました。これからも皆さんと一緒に作るということを大事にして、4月から努めてまいりたいと思います。

あおば福祉会：（酒井主任予定者）来年度、副園長及び5歳児担任予定者の酒井と申します。よろしく願いいたします。

あおば福祉会：（小澤主任予定者）来年度、主任予定者の小澤です。どうぞよろしく願いいたします。

吹田市：（出席者紹介）

2 合同保育について

吹田市： 岸部保育園は来月に社会福祉法人あおば福祉会へ移管となります。

これまで、あおば福祉会から来ていただいた多くの職員の方々に、御尽力いただき引継ぎを進めて参りました。

本日までの合同保育を振り返って、また、来月の移管に向けて一言いただきたいと思えます。

あおば福祉会： 合同保育について、お伝えさせていただきます。

1月から私たち3人以外に、各クラスの保育士、看護師、栄養士が引継ぎに入りました。

保護者の皆様にも、三者面談という形で御協力やお時間をいただき、感謝申し上げます。子どもたちや保育園のことについて、いろいろな御意見をいただき、4月からの保育にも生かしたいと思えます。

保育内容については、1月からは生活発表会が一番大きな取り組みになってい

て見学させていただきました。

乳児クラスでは、普段の生活の中での遊びを中心に、保育者と子どもたちが信頼関係を土台にして、つもりあそびをすごく楽しんでいる姿がありました。発表会当日はお客さんが多く、いつもと違った雰囲気でしたが、誰も泣くことがなく参加する姿を見て、普段の保育の中で先生方と子どもたちの強い結びつきがあることで、そのような姿になっているとすごく感じました。

幼児クラスでは、絵本を使って、それぞれの役になりきっている姿がありました。その役の気持ちになるという心情もすごく大切にされていて、とても大事なことだと思いました。一人一人が輝けるような取り組みを大切にされていることも大変感じました。

また、担当のクラスだけではなく、他の先生方にも取り組みを見ていただいて、子どもたちに意見や励ましの言葉を述べておられました。子どもたちは認めてもらえたということで、当日、一生懸命頑張る姿につながっていて、とてもすてきなことだと思いました。私たちもそのような保育をしていきたいと思います。

最後に、クラス懇談会については次年度の担任として入らせていただきました。その中で、今のクラス担任の先生の思いや、保護者の方の思いを聞かせていただいて、その思いを4月からの保育で大切にしていきたいと改めて感じました。

このあとは卒園式の取り組みがありますが、しっかり見させていただいて、最後まで丁寧に保育を引き継いでいきたいと思います。

吹田市：（岸部保育園保育教諭）合同保育の状況をお伝えします。

今年1月、各クラスにあおば福祉会から担任予定の先生が来られ、いよいよ4月の民営化が迫っていることを実感しました。

乳児クラスは初めは人見知りがありましたが、毎日保育に入ってもらう中で、少しずつ慣れて、信頼関係を築いてもらっています。各クラスで一緒に散歩や遠足に行ったり、ごっこ遊びをしたり、子供たちと共に過ごすことで、クラスの子供たちの個々の姿を知り、関係づくりを大事にされています。また、カリキュラム会議、発表会の取り組みも一緒に経験してもらい、保育の引継ぎを行っています。

幼児クラスでは、正月遊びや節分などの日本の伝統行事にも入っていただきました。5歳児クラスでは、バス遠足にも一緒に行っていただきました。今は、卒園式のリハーサルや、太鼓の練習にも参加していただいています。

また、三者面談、各クラスの懇談会、朝夕の当番保育で保護者との顔つなぎもしていただいています。

早いもので、3月を迎え、昨日は、バトンタッチの会をして、子供たちにあおば福祉会に引き継がれることを伝えました。

年度末で慌ただしい中、岸部保育園の職員は、残りの数日で異動することを改めて実感し、寂しい気持ちでいっぱいです。4月からも、子供たちや保護者の皆様が、新しい岸部保育園で変わらず過ごしていけるように、あと少し丁寧に合同保育を進めていきます。

3 引継ぎ保育、職員体制について

吹田市： 来月の移管後に実施する引継ぎ保育の概要と、担当職員の紹介をさせていただきます。この資料は、本日参加されていない保護者の方にも、後日お配りをさせていただきます。

（「参考資料1 引継ぎ保育について」を配付）

吹田市：（岸部保育園長）吹田市立岸部保育園は、4月からあおば福祉会の運営となり、引継ぎ保育が始まります。1年間の合同保育で引き継いだことを、あおば福祉会の職員の方と確認しながら、安心安全に保育が進められるようにサポートしていきます。

昨日、バトンタッチの会をして、子供たちとお別れすることを伝えたのですが、泣いてしまう子もいました。新しい環境になり、4月は子供たちに落ち着かない様子が見られるかもしれません。

引継ぎ保育に従事する職員がいて、日中保育の時間外の朝夕でも、保護者の方と顔を合わせ、お話を聞かせていただくこともできますので、遠慮なくお声をかけてください。

具体的な内容は参考資料1をご覧ください。1年間の引継ぎをします田中です。6か月の引継ぎをします徳森、田端です。3ヶ月の引継ぎをしますローズです。1か月の看護師業務の引継ぎをします大坪です。本日は欠席していますが、1か月の用務員業務の引継ぎをします松村です。

（引継ぎ職員挨拶）

吹田市：（岸部保育園長）参考資料1に、乳児の担当、幼児の担当ということに記載していますが、状況に応じて園全体を見て、あおば福祉会の先生方とも相談しながら、入るクラスは考えていきたいと思っています。

吹田市： 次に、あおば福祉会から来年度の職員体制について説明をお願いします。

（「2023年度 岸部保育園 職員体制」を配付）

あおば福祉会： 来年度の職員体制を、配らせていただいております。資料の子どもの人数は、引っ越しなどで転出された方もいらっしやっただので、参考資料3の人数と若干数字が違うところがあります。

担任保育士が、4、5歳児は3名ずつとなっています。4歳児と5歳児は国の基準では30対1という厳しい基準もありますが、次年度の子どもたちにとって必要な人数ということで、3名を配置させていただいております。

民営化園ですので、保護者の方としっかりコミュニケーションをとることも含めて決めさせていただいた人数ですので、その点を御理解いただいております。

民営化園の中で一番大事なことは、やはり人だと思っています。クラス懇談でも先生方と離れるのが寂しくて、涙を流された保護者の方もおられましたし、昨日

のバトンタッチの会でも、子どもたちが嫌だと言って涙する姿もありました。

そういった子どもたちの姿をしっかりと受け止めて、吹田市にも協力していただきながら、法人として安心できる職員体制を整えてきました。

現在、岸部保育園で働いておられる会計年度任用職員の先生方は、岸部保育園が大好きで、子どもたちの成長を見ていきたいという思いを持っておられ、継続して岸部保育園で勤務してくださる先生方がたくさんおられます。

フルタイムの会計年度任用職員から7名が正規職員として採用しました。また、朝夕のパートの会計年度任用職員も9名を採用しました。朝夕に保護者の方がお会いする先生方が多く残ってくださるのはすごくありがたいことです。朝夕は、いつもと変わらない顔でお迎えすることのできる体制が整ったと思っております。

本日、クラス担任発表まではお伝えできませんが、子どもたちが安心して進級できるように私たちも考えておりますので、後日お知らせしたいと思っております。

4 アンケート回答、引継ぎの状況について

吹田市： 三者懇談会前に実施したアンケートについては、参考資料2「第7回 三者懇談会アンケートの御意見、御質問について」を配付しています。

また、保育等の引継ぎに係る状況については、参考資料3「岸部保育園の保育等に係る現状と引継ぎの状況(令和5年(2023年)3月18日)をご覧ください。

吹田市、あおば福祉会から補足説明をいたします。

吹田市： アンケートの結果について、移管前に確認したい項目に関して回答数が多かったものを御報告いたします。

回答数が1番多かったものは、「保育内容(移管後の変更点など)」で12人。2番目は「年間行事(運動会、デイキャンプなど)」が11人。3番目は「職員体制」が10人。以下、「保育環境(防犯対策、施設改修)」が7人、「引継ぎ保育」が6人、「給食」が2人となりました。

職員体制については、先ほどあおば福祉会から御説明がありましたが、その他の引継ぎ状況については、参考資料3に詳しく記載しております。御確認をいただきまして、御不明な点につきましては、この後に御質問ください。

なお、民営化通信でもお知らせをさせていただきましたが、保育に支障が生じることのないよう、園舎等の改修も実施しております。園庭の水はけの改良や、トイレの床面、給食の展示用ボックスの改修なども行っておりますので、御報告させていただきます。

あおば福祉会： アンケートの回答にも記載していますが、基本的な行事等やルールは変わりません。個人面談の中でもお伝えをさせていただいております。

お便りの内容のことも書いていただいておりますが、子どもの姿や、その時々で変わってくることもあると思いますので、気付いたことはいつでも言っていただいで、保護者の方が知りたい内容を反映させていただきますので、よろしくお願ひします。

5 質疑応答

吹田市： それでは、御意見や御質問、御要望があればお受けいたします。

保護者： たくさんの先生方が残ってくださると聞いて、すごく安心しました。

行事等は大きく変わらないと聞きましたが、誕生日会の誕生カードは今までと同じですか。あおば福祉会では、先生方が子供の写真を撮ってくださるのですか。保護者に見せる顔とは違う顔が載っていて、保育園の誕生日会で、先生に見せる笑顔が載っていると、ちょっと安心して、嬉しい気持ちになると思うので検討していただきたいと思います。

あと、4月以降のマスク着用はどうなりますか。あおば福祉会で検討していただいていることがあればお聞きしたいです。

あおば福祉会： 今の誕生日会のカードも素敵だなと思って見させていただいています。おっしゃるように、園での子どもたちの笑顔は、保護者にとってはそのとおりだと思いますので検討させていただきたいと思います。

あおば福祉会： マスクについては、あおば福祉会の保育園では特に決めていませんが、自治体ごとで対応が全然違うので、それぞれの自治体に応じた対応をすることが、必要ではないかと思っています。

保育の中で、子どもが保育士の顔を見えない状況で保育をするのは、悪影響があると科学的に証明され始めていますので、保育についてはマスクを外すという対応にしています。送迎においては、基本的に保護者の方に委ねるということになっていますので、着けてこられない方もおられますし、「まだ心配です。」とか「御迷惑を掛けないように着けます。」という方もおられます。

できる限り、子どもにとって、どういう状況、保育をつくり出せるかということは考えていければいいと思います。これは岸部保育園の中で御検討いただけたらと思っています。

それぞれ考え方が違うので、いろんな人の意見を聞いていたら絶対に方向性は決まらないので、まず子どもたちにとってということを考えていきたいと思っています。

吹田市： 吹田市の公立保育施設は、基本的に3月13日から、個人の判断でのマスク着用の取扱になっていますが、子供たちについてはこれまでも、基本的にマスクを着用しないで保育をしています。職員は子供がいる施設であるということで、今のところ、マスクを着用して保育をするということにしております。

しかし、卒園式などでは、職員も当日はマスクを着用しないで、行いたいと思っています。5月8日からは取り扱いも変わるとは思いますが、5月7日までは、職員については、感染防止の観点から基本的にマスクを着用するというようにしております。

ただ、保護者の方にそれを求めるということではありませんので、3月13日以降は、個人で判断していただくということになっております。

保護者： 今、保育園では歯磨きを毎日していないと思いますが、できれば徐々に再開していただきたいと思っています。歯磨きをするかしないかということは市の指導によるのか、または先生方で話し合って決めていただけるのかということ、再開していこうとされているのかということも聞かせてください。

吹田市： 公立として、絶対に歯磨きをしないと決まっているわけではなく、基本的には、コロナ禍の前に戻していくという考えを持っています。
ただし、この間はずっとコロナ禍でできていなかったもので、園ごとにしっかりと、子供たちにも伝えながら、丁寧に取り組を始めようと思っています。

あおば福祉会： 今言われたように、私たちも子どもたちにとっても、必要な取り組み、生活習慣だと思っています。

歯磨きは、家庭では嫌がっていても、保育園での社会生活の中で、自分もみんなと同じように取り組めるということで、歯磨きをする意味がすごく大きいと私たちも感じていますので、いつ戻すのかという判断が必要です。屋外遊びも自由にできるようになって、今後は、いろんな行事の規制もなくなっていきますので、まずは、この時点で改善して安全だということから、徐々にしていきたいと思っています。

特に歯磨きは、唾液の飛び散りも含めて、感染の恐れがあるのではと、まだ言われている部分もあるので、もう少し状況を把握しながら始めたいと思っています。

やり始めたはいいけれども、これでコロナが感染してしまうと保護者の就労にも影響しますので、市とも協議しながら慎重に進めます。できる部分については改善していきたいと思っています。

保護者： 給食関係のことで質問です。給食費は主食費が700円アップになりますが、変更内容を見ると、お昼のおやつところで1割増えるという記載になっています。こういったところが変わるのか教えてください。

給食のサンプルケースも変えていただいて、子供の目線からも見えるようになって嬉しく思っていますが、サンプルの給食の量が思っているより少ないように感じましたので、もう少し量もしっかり取ることができればいいなと思っています。

あおば福祉会： 給食については、私たちも量を含めて考えていきたいと思っております。

旬の食材など、今でももちろん使われていますが、子どもたちが出会う食材を、さらに幅広く増やしていきたいと思っております。

給食だけではなく食育という意味で、食べることは一番の基本ですが、子どもたちが食べたいと思う気持ちを膨らませることは、すごく大事なことだと思っています。そういった意味での食育としてクッキングがあります。今までは、クッキング代金も別に徴収していたと聞いていますが、そこも含めて徴収させていただきたいと思っております。

今、公立でも少しずつクッキング保育が再開されており、この数か月間で見させていただいておりますので、どの年齢でも少しずつ取り入れていけるような活動を増やしていきたいと思っております。

こういったメニューになるかは、4月までに保護者に分かるような形で、写真や

法人の給食メニューも載せながら、お便りでお伝えできればと思っております。

先ほどにお話されたサンプルケースも、子どもたちが立ち上がって見る姿が増えており、見やすくなって良かったと思っております。

子どもたちが食に興味を持てる環境を4月から増やしていきたいと思っております。また、お便りでお伝えさせていただきます。

保護者： 健康状態について、検討していただきたいことがあります。朝9時の時点で熱があれば翌日も登園できませんという決まりがあると思うのですが、子どもにとってはそれが一番ですが、それができない時もあるので、ルール上、変えていけることがあれば、ぜひ検討してほしいと思っております。

吹田市： （看護師）現在は、コロナ禍の24時間ルールとして、熱があれば基本的に24時間は子供の様子を見てほしいということになっています。

保育園は集団保育で、0歳児のお子さんから預かっていますので、そのようにしているところですが、コロナの感染者が減少してきており、熱の上がり方は個々によって違いますし、お子さんたちの様子に合わせて少しずつ変えていこうということで、様子を見て対応させていただくというように変わっていくと思っております。

吹田市： 看護師がお伝えしたとおりですが、市の保育幼稚園室のコロナ対応についてのホームページにも、24時間ということを書かれておりましたが、今はそれも削除させていただきまして、コロナ対応が変わってくると同時に見直しを行っているところです。

保育園は小さい子供がいるので御理解をいただいていると思うのですが、熱もそうですし、他のことについても園に相談して対応していただいている状況であると思っております。コロナの対応については、変わってきているということをお伝えさせていただきたいと思っております。

保護者： 来年度は民営化になりますが、継続勤務される先生方がたくさんいらっしゃるのですので安心しています。一方で、子供たちの心のバランスを心配しています。うちの子は最後の1年なのでのびのびと過ごしてほしいと思っております。

卒園式の時には、それまでにお世話になった公立の先生方に来ていただけたらという思いがありますので、お声掛けはしていただけるのかお聞きします。また、市として、民営化したので先生を出せませんということがあるのかお聞かせいただきたいと思っております。

あおば福祉会： すてきな御発言をありがとうございます。我が子を思う気持ちは、とても大切だと思いますし、私たちも、卒園させるまで愛情を持って関わってきたので、保護者の方と同じ思いだと感じています。

法人としては、これまで関わってきた先生方に、「ぜひ御参加ください」という御招待状を送らせていただきたいと思います。

吹田市： これまでもそういうお声をたくさんいただいております。吹田市としましても、す

っと関わってきた子供たちですので、卒園式等の行事での姿をぜひ見させていただきたいという思いは強くあります。

ただし、岸部保育園のみならず人事異動がありまして、異動した職場で行事等も重なってしまうこともあります。コロナの規制も緩和されて、人数制限等もそこまで厳しくなくなるということであれば、可能な範囲で参加させていただきたいと思っております。

保護者： 卒園式や行事等の声掛けは、来年度だけですか。在園している子供たちが参加する大きな行事だけでも来てくださると保護者や子供たちもすごく嬉しいと思うので、来年度だけではなく、長い期間お声掛けさせていただきたいと思います。

あおば福祉会： おっしゃるとおりだと思います。私たち保育士、保育園で働く者としても、あおば福祉会の中で異動はありますが、子どもたちをずっと見ていたので、卒園式等の行事に行きたいと思って今も働き続けています。

あおば福祉会として、関わっていただいた先生方には御招待状を送りたいと思っております。

吹田市： 他に質問はありますか。

Zoomでの参加の方はいかがですか。なければ、本日はこれまでにしたいと思います。

最後にあおば福祉会から何かございますか。

あおば福祉会： いろいろと御発言いただきまして、ありがとうございます。しっかりと受け止めてやっていきたいと思っております。何よりも子どもたちに、保護者の方々の温かい御支援を期待しております。

気付いたことは遠慮なくお伝えください。法人として協議して対応していきたいと思っております。保育は、保育園、保育士、保護者、地域の方々が共に作り上げていく事業ですので御協力をお願いしたいと思います。

また、市からもバックアップしていただき、皆様と一緒に、子どもの成長、発達をしっかりと見守っていき、50年間の岸部保育園が生み出してきた、地域の子育てセンターということを引継ぎ、現代に合わせて充実させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

吹田市： 次回以降の三者懇談会の開催につきましては、引継ぎ保育の報告、保護者アンケートの報告などを予定しております。

なお、三者懇談会は、保護者、あおば福祉会、吹田市のいずれかが要請すれば、開催することができることになっております。開催日程等につきましては、あおば福祉会と父母の会会長と調整をさせていただきます。保護者の皆様には決まり次第、御案内をいたしますので、御参加をよろしくお願いいたします。

それでは、本日の三者懇談会を終了させていただきます。